

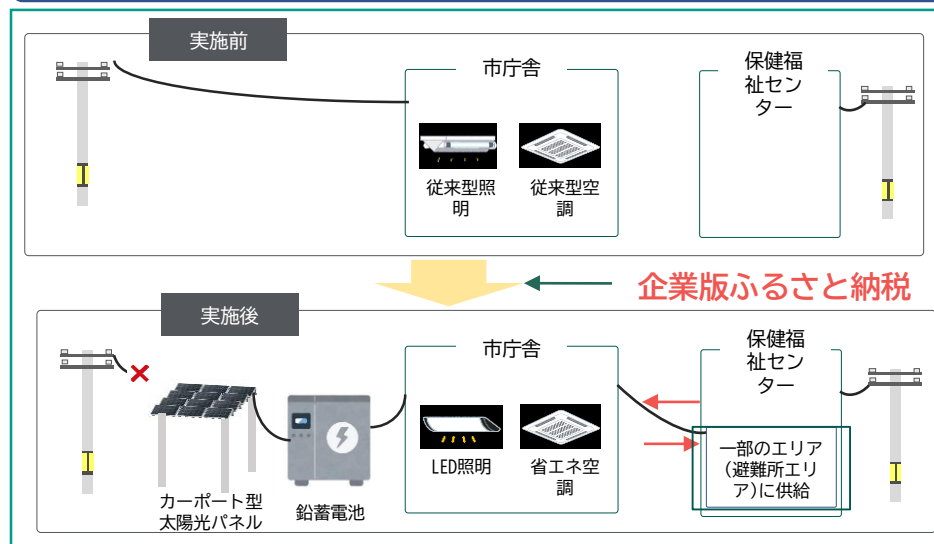
【企業版ふるさと納税活用プロジェクト】自立分散型エネルギーに関する取組

再生可能エネルギーによる非常用電源対策  
再生可能エネルギーによる市庁舎電源の自給自足と防災機能の強靱化

事例概要

自治体名	佐賀県小城市
寄附額 寄附件数	¥ 1,200,000 / 6 件
寄附までの プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体から企業への声掛け</li> <li>・支援事業者による架電、DMなどを活用した斡旋</li> </ul>
事業概要	<p>防災活動の拠点となる市庁舎に500kWhの太陽光パネル発電設備と3,456kWhの鉛蓄電池からなる再生可能エネルギー出力制御システムを導入</p> <p>平時及び災害時における市庁舎での継続的な電力使用のみならず、災害時は避難場所となる保健福祉センターの一部に電力を供給可能</p> <p>72時間の非常用電源確保と系統電力との切り離しによる電力料金の大幅削減</p>
実施状況 (2023年12月現在)	事業化済み (2022年2月運転開始)
CO <sub>2</sub> 削減 効果	361 t-CO <sub>2</sub> / 年
寄附企業との 連携・交流等	事業の進捗状況や寄附の利用状況を報告
寄附企業紹介URL	<a href="https://www.city.ogi.lg.jp/main/41406.html">https://www.city.ogi.lg.jp/main/41406.html</a>

事業スキーム・寄附の流れ



小城市庁舎全景(左)と蓄電池設置状況(右)